

道徳科学習指導案 主題名「あとかたづけ」 内容項目：A 節度 節制

1. 価値観及び児童生徒観

- 価値観
身の回りを整えて気持ちのよい生活することは、生涯にわたってあらゆる行動の基盤となり、充実した生活を送るうえで欠くことのできないものである。また、身の回りを整理・整頓することは、物を大切にいしようにする態度の育成にもつながる。小さい頃から繰り返し、指導し、自分で片づけができるようにすることが大切である。
何をどこにどのように片づければよいのかだけでなく、きちんと片付けができたときの気持ちよさや使いやすさにちて考えさせる必要がある。そのことが自分で片付けようとする態度につながると考える。
- 児童生徒観
配ったプリントを連絡袋にしまうことがなかなかできなかつたり、ランドセルに、色鉛筆がケースからとびでている状態に入れている児童もいて、片付けが苦手な児童がいる。片付けをして、褒められたり、しなかったために叱られたりした経験がある児童は多い。しかし、なぜそうなのかを深く考えたことはあまりないように思われる。また、片付けを面倒がり、人に汰よたり後回しにしたりする傾向も見られる。そこで、きちんと片づけると気持ちよくなり使いやすくなることを、授業内で実践することによって、実感させて、自分でかたづけようとする態度を養いたい。

2. 指導方針

視 点	指導方針
自分との関わりで考えるために	・片付けをきちんとしてほめられたという経験の有無を確認し、あとかたづけをするとどんな気持ちになるかを考え、成功体験をもとに、本時の方向付けをする。 ・実際に自分の引き出しを整理整頓する。
多面的・多角的に考えるために	・道徳ノートの9ページを活用して、身の回りの整理整頓について点検し、その結果について、できている場合は褒め、できていない場合は、一緒に対策を考えるようにする。 ・学校で「身の回りの片付け」に取り組んでいることを通信で家庭に伝えたりして、家庭との連携を図りながら片付けが習慣化できるようにする。

2. 評価の視点

- (1)学習指導過程の評価
ちらかっている引き出しの物の気持ちを考え、理解することができたか。
実際に自分の引き出しを片づけることができたか。
- (2)指導方法の評価
実際に自分の引き出しの中の整理。整頓をする体験的な学習を取り入れたことが、気持ちよくなり使いやすくなることを実感したり、自分で片付けようとする意欲を高めたりするために効果的であったか。